

KSKR

## だいかれん

公益社団法人大阪府精神障害者家族会連合会(大家連)

## 新年を迎えて

医療費助成の実現を!

会長 倉町 公之

新年を迎えるにあたって一番の思いは、精神障害者に対する医療費助成と公共交通運賃の割引を実現させることです。

20年以上も前に、障害者基本法により、これまでに医療の対象であった精神障害者が障害者福祉の対象として位置づけられ、身体障害者や知的障害者と同水準の福祉施策を整備する根拠が与えられました。しかしその後、障害者福祉において精神障害者の格差は解消されていません。

その中でも特に重要と考えるのが、重度障害者の医療費助成です。身体障害者及び知的障害者の重度障害者については、すべての医療費が助成の対象となつていますが、精神障害者については、精神科の通院医療以外の診療科目については助成の対象にはなつていません。また、JR、民間鉄道、バス及び航空機の運賃、並びに高速道路の通行料金についても同様です。

精神障害者に対する医療費助成と公共交通運賃の割引を実現させるという思いを込めて、家族会の皆さんとともに4月から署名活動に取り組んでいます。

家族会だけでは、署名数が限られてしまいますので、当事者の会、精神科病院協会、精神科診療所協会、精神保健福祉士(PSW)会や障害者関係団体にも協力をお願いしています。

10月現在、約7000筆となっております。

今後ともさらに多くの関係団体に協力をお願いしていきたいと考えています。皆様も出来る範囲で、協力の輪を広げて頂ければ幸いです。

緑色の要望書は、知事へ直接手渡しし、実現を約束させたいものです。また、府議会へは、昨年春に医療費助成と運賃割引に関する請願書を提出して全会一致で採択されています。再度請願書を提出して、後押しをお願いしたいと思います。

白色の署名用紙は、国会へ届けるものです。全国の家族会から届けます。

来年度には、障害者差別解消法が施行されます。これに合わせて、大阪府では、「条例」の制定が検討されています。精神障害者に対する府民の理解が進み、差別事例が減少し、さらには無くなつていくような社会を築いてゆきたいものです。

11月から大家連事務室は、少し広い場所に移転(同じ建物の4階から1階へ)しました。今後は、大家連事務室を家族のたまり場にするなど活用してゆきたいと思つています。皆さんお立ち寄りください。

## 目次

◆ 新年のあいさつ	1 頁
◆ みんなねっと福岡大会報告	2 頁
◆ 近畿ブロック大会報告	3 頁
◆ 家族の思い	3 頁
◆ 全国精神障害者ソフトバレーボール大会	3 頁
◆ 家族会紹介(吹田のぞみ家族会)	4 頁
◆ 遠塚谷さんのミニ知識	5 頁
◆ 精神福祉保健講座	6 頁
◆ 電話相談をして	6 頁
◆ 理事会の活動報告・賛助会費報告	7 頁
◆ お知らせ・編集後記	8 頁

## みんなねっと福岡大会に参加して

副会長 林

日時 2015年9月28日(月)～29日(火)

会場 福岡国際会議場(福岡市博多町)

テーマ 「精神障がい者が

共に暮らせる地域づくり」

～当事者の力、家族の力、

地域の力が未来を拓く～

北海道から沖縄までの家族が一同に集まって開催されました。JR博多駅から車で約10分、博多湾に面した大きな会場でした。大阪大会の会場を思い起こしました。全体会では「戦後70年と障がい者権利条約」について「精神病になっても希望をもって生きられる」等の大きなテーマが与えられ、参加者一人一人のところに深く残ったと思います。

約2,000名の参加者が福岡に集合して、大ホールでは、ほとんどの方が舞台に目が釘付け！講師の語られる一言一言、熱心にメモされていた。2日目の分科会では私は第1分科会で「家族と家族会の力と役割」～家族の思いと体験を生かす～という



大会終了時に署名運動の垂れ幕を理事たちで!!

テーマで他の2人の話題提供者と共に壇上へ。発表後は約300名(第1分科会)の出席者から思い思いの質問や考えが引き出され、居住地は違っても、親の思いは同じだと感じ、大変有意義な時間を持つことが出来ました。大阪からは6名の家族が参加。たくさんの人びととの触れ合いを通して、心豊かに帰路に着きました。

## 近畿ブロック家族の集いに参加して

理事 岸上知三

十月十日に兵庫県民会館で近畿ブロック大会に参加してきた。基調講演は北野誠一さんだった。用意された資料は興味深いものだった。医学モデルから社会関係モデルへ等をどう実践し、地域生活をどう支えるかであるが、家族会での講演である為か、自身の体験談が多くを占めた。この様な偉い専門家も私と同じような苦勞をしていることが分かり、親近感がわき聴き入ってしまった。講演後、障害者差別解消法のこと個人に質問してみた。「合理的配慮は官では義務だが、民間では努力義務ではないので問題だと思いが。」先生は「アメリカでは民間であろうと補助金を数万ドル以上受けているところは義務になっている。そもそも民とか官とかの区別はあまりない。」ということだった。障害者差別を『排除』などの不当な差別と『合理的配慮の欠如』に分け、福祉を『官』と『民』に分けることで、この法律が骨抜きになってしまわないか危惧

している。もう一つの質問は『合理的配慮のデータベース化』である。「アメリカではすごい量がデータベース化されている。」というお答えだった。以前から『日本という国に生まれた不幸』が指摘されている。諸外国ではどの様な配慮がなされているのか知ると安心である。

後半は『障害者が地域で安心して生きるために』をテーマに4人の方でシンポジウムがあった。兵庫県立大学の川口さんから精神科訪問看護についてのお話があった。学問的で客観的データや実践のお話は説得力のあるものだった。また、課題として連携や時間の問題があがった。個々に分かれた専門家ではなく、総合的に支援してくれる専門家がいてくれたらと日頃私は感じている。最後のわいわくねっとの方は就労支援をきちんとされている取り組みをお話していただいた。家族の辛い体験から定年後この仕事を始めたということだった。私も定年後就Bの事業所で働いたが、2ヶ月で辞めてしまった。園芸療法の勉強もしたが、役立たせる取っ掛かりも見つからない。定年後は自由だというが、それはまるで宇宙遊泳のように動かない。彼の地に足をつけた取り組みに心から拍手を送った。



シンポジウム

# 家族の思い

みのお笑顔の会を立ち上げて 一階三奈

私が主人のうつ病と向き合って、早、13年余りたちます。「眠れない」と訴える様になり、通勤時に通えるからと、病院をよく調べもせず、安易に選んだのが『眠りのクリニック』。

それから、主人の「うつ病」との戦いがはじまりました。休職をし、食欲がなく寝てばかりの主人。生活の為に、私も仕事をはじめました。今日も無事に過ごせたと思う日々が何年続いたでしょうか。そんな中で、少しでも主人の気分が晴れる様にと、カレンダーに映画他イベントを書き込み、調子の良い時は外に連れ出しました。今、思い出してみると、少し元気になったかと思うと、又、気分が沈み、家から出られない。それは自分で勝手に薬を飲んだりやめたりを繰り返していたからでした。副作用の便秘が辛く、このままでは薬づけになってしまうと判断して、そうしていたのです。

こんな日々が続く中、どこかに私と同じ思いをしている人がいらっしやるのでは。悩みや愚痴を話して、「うちもそうそう！あるある！」と声に出してみたいと、うつ病の家族会を探しましたが、箕面にはありませんでした。

た。そして、あつという間に何年も過ぎてしまいました。主人も随分元気になってきた昨年の6月の頃でした。息子に「ママが本当にしたいことは、うつ病の家族が声を出せる場所づくりなの。」と話しました。息子は「自分で立ち上げたら。」と背中を押してくれました。箕面の社協や市の健康増進課の方々に協力を頂き、『みのお笑顔の会』を立ち上げ、今年で1年を迎える事ができました。今では臨床心理カウンセラーの方も、家族の声が聞きたいと参加してくださり、適切なアドバイス下さっています。

うつ病の治療にはたくさん時間と家族の理解が必要です。本人を支えるためにも、家族が思いや悩みを、同じ悩みを持つ家族に聞いてもらうことで気持ち楽になり、病気に向き合えます。病院の情報等も交換し、参加して頂いた方が一人でも笑顔を取り戻す会にしていきたくて願っています。これから長く、この会を続けていきたくと思っています。

同じ悩みをかかえているご家族の方は、ご連絡下さい  
(大家連 TEL06-6941-5881)

## 全国精神障害者ソフトバレーボール大会 「あぶ山ワンハーツ」が準優勝

10月23日から27日まで、「全国障害者スポーツ大会(紀の国和歌山大会)」が、和歌山県で行われました。精神障害者のソフトバレーボールの大会に大阪府から出場した「あぶ山ワンハーツ」が、準優勝しました。

ソフトバレーボールは、ルールは普通のバレーボールとほぼ同じですが、ボールはゴム製のものを使用し、ネットの高さは高校生の女子と同じです。6人制で行われますが、女子が1名以上入るのが原則となっています。



「あぶ山ワンハーツ」は、高槻市の新阿武山病院を拠点としたチームですが、これまで全国大会には9回出場し、準優勝が4回、3位が1回と大いに健闘しています。

今回の決勝戦は、横浜市と当たりフルセットのすえ2・1で負けました。メンバーは、優勝するのが悲願だと言っています。

(K・K)

# 家族会紹介

新しく大家連に加盟されました

## 「吹田のぞみ家族会」

設立 1976年

会員数 60名

編集委員二人で新しく加盟された「吹田のぞみ家族会」の例会に10月22日(木)取材に行きました。

その日は吹田勤労者会館で「のぞみふれあいコーラス」との交流会でした。観客の家族の机と椅子で囲まれた真ん中を舞台に演奏が始まりました。当事者メンバーを中心に一部の家族とボランティアが入って、合唱、輪唱、ハーモニカ、当事者メンバーの創作した歌詞による替え歌等の演奏を楽しみました。美しいハーモニ、純粋な響き、歌うことの楽しさがあふれていて、聴いていて感動しました。

演奏後、家族とメンバーはお茶とお菓子を食べながら交流されていました。

コーラスの指揮と歌唱指導されていた吉澤さんにお話をうかがいました。

吉澤さんは20年もボランティアとして歌唱指導にいられているということですが、最初は1人から始まって、今では当



事者メンバー20人と家族、ボランティアのサポーターが7〜8人で、毎月2回、練習をされているそうです。吉澤さんは阪神大震災の時にご自分の指導していた児童合唱団の子供達を心配して西宮でボランティアを始められ、その後、吹田市の精神障がい者サポート研修を受けて、当事者メンバーの合唱指導をされるようになったそうです。はるばる西宮から毎月2回通って来られています。メンバーとはすぐに心を開いて友達になれたそうです。メンバーたちの歌いたいという気持ちをまず大事にして教えられているそうです。メンバーたちと心の純粋さでつながっているこの先生の献身とメンバー達の表現したいという気持ちがあがっています。

来年の11月24日(木)に吹田メイシアターで発表会をされます。関心のある方はぜひ、聴きにいらして下さい。

その後、この家族会2代目会長にお話をうかがいました。

家族会に入られたのは昭和53年で息子さんが19歳の時だそうです。その時にはもう家族会があって、作業所もあったそうです。その頃は保健所の方が大変熱心に助けてくださって、いろいろな資料も集めて下さり、市役所に家族で交渉に行くようにアドバイスも下さったそうです。市役所に交渉に行つてだめでもあきらめず、顔を覚えてもらえるまで頑張りなさいと励まされ、家族会の役員と共に、毎日のように役所に行きましたとおっしゃっています。議員のところにもお話に行き、作業所の運営も手伝い、資金集めのためにバザーも何度も行い、地域の反対運動があったときは、説明に行きましたと言われています。

た。その活動と努力が実り、今では就労支援移行事業所2つ、生活介護事業所2つ、自立訓練事業所、就労継続支援B型事業所、地域活動支援センター、相談支援事業所が各1つ、3つのグループホームができています。最後にお年を聞いてびっくり。90歳になられるそうです。今も家族会にいられて活動されています。この方なしに、吹田の精神障がい者と家族の今はなかつたと思えました。

最後に、現在の会長にお話をうかがいました。会長になって、もう10年以上になられるそうです。毎月、役員会とは別に例会も開いていて、来月はバスをチャーターして、家族、ボランティア、職員で姫路城に行くそうです。そうして培った人間関係があるので、私が疲れて会長をしりぞいても、必ず、どなたかがして下さるとおっしゃられていたのが印象的でした。過去の会長の苦労に比べれば、私の今の苦労など何でもないとおっしゃっていました。又、例会もいつも家族だけと同じ苦労話になるので、ボランティアや当事者、職員とも交流して、開放的な例会にするようにしていますとおっしゃっていました。明るくて開放的なお人柄で今の家族会をリードされています。

多くの家族会で、立ち上げた施設が自立支援法以降法人化して、家族会から自立しました。施設からお役御免のようにして出されてしまった家族会は目標を失い、衰退してきています。吹田のぞみの会は施設と家族会が、お互いを大切にして、良い関係を持ちながら家族会活動をしていらつしやるように感じられました。

取材 奥村・誓山

とおつかに  
遠塚谷さんの

## 三三知識

### 5 疾病

精神疾患が5疾病の中に入って、地域での医療体制を整えなくてはならないことになったのですが、それにはどういう意味があるのでしょうか。

#### 精神疾患の増加

我が国では、医療計画制度の下でとくに力を入れる疾病や事業があげられており、これまでは、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病が4疾病とされてきました。2013年からそこへ精神疾患を加えた5疾病について、重点的にとりくむことが定められたのです。

精神疾患は患者数が300万以上になって他の4疾患を上回っている、自殺者が2013年まで毎年3万人を超えて、自殺する人のうち高い割合で精神疾患にかかっている人がある、うつ病が急増して職場で大きな問題になっている、認知症の人が増えているなどがとくに注目され、国を挙げての対策がみとめられることになりました。

#### 入院患者の問題

精神疾患の患者数が増えたのは外来患者数が増えたためです。2008年に323万人でしたが、このうち約290万人は外来患者です。病名で最も多いのはうつ病などの気分

障害です。次いで統合失調症関連障害、神経症性障害となっています。気分障害の患者数の増加が最も著しく、アルツハイマー病といった病名も増えてきています。入院患者数は増えておらず、減り気味に推移しています。しかし我が国の精神科ベッド数は、先進国の中で突出して多く入院期間も長いという特異な事態になっています。そして社会的入院が大きな問題であり続けてきました。

#### 一般医療と精神疾患

我が国は自由開業医制で、一般医療も民間主体の医療体制でしたが、1985年には諸外国とくらべ病床数も多く、在院期間が長くなっており、医療費の上昇が問題となっていました。そこで医療法の中で医療計画を定め、人口30万〜40万の二次医療圏ごとに必要病床数の上限を決めることになり、病床数の増加にストップがかかることになりました。ところが精神科病院については医療圏ではなく、都道府県単位で考えるという別扱いにしたのです。これだけでなく、我が国においては精神科医療は一般医療と切り離されて、差別的といえる条件で行われてきました。「精神科特例」といって、精神科病院の人員配置を一般病院より少なくすむようにしてきました。医療費も一般医療より低いものになっています。

医療計画の中で精神疾患が重点的に取り上げられたのは、外来患者数が増えた当然の成り行きですが、今までにないことです。

外国の例を見ると、イギリスでは2000年から10年間の医療改革が行われましたが、がん、心臓疾患、精神疾患を最も健康被害の

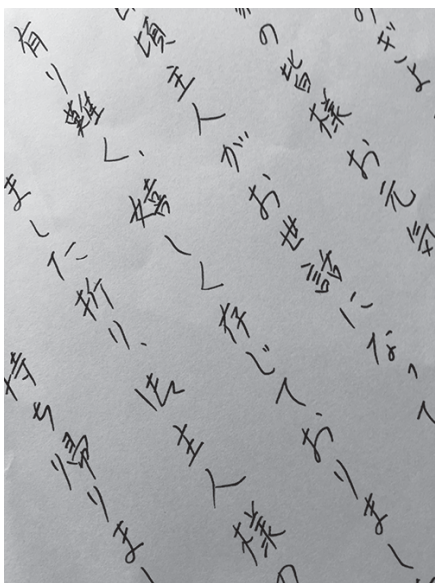
大きいものとして取り上げ、それぞれの疾患ごとに具体的な改善目標を立てて取り組みました。これが精神保健の抜本的な改革となり大きな成果を上げました。我が国でも、国や自治体の政策にこれまでにない変化がなくてはならないのです。

#### 自治体の医療計画に注目

「5疾病に入っただけでなにか変わったの？」と思っている人は多いでしょう。医療計画は都道府県ごとに決められます。各都道府県の計画をネットで比較しましょう。どんな医療計画がほしいのか、家族会でも積極的に要望を組み立てて交渉に臨むべきでしょう。

#### イラスト(当事者の作品から)

このイラストは箕面市のM.Hさんのペン習字の作品です。M.Hさんは働くことは卒業と言われて、自宅で様々なことに挑戦されています。



# 精神保健福祉講座

「たかが便秘されど便秘」9月12日(土)

井戸由美子先生福祉講座 感想文

城東家族会 Y.F

親子共々便秘なので、この講演の日が楽しみでした。

玄米、出来るだけ野菜中心の食事をしていたのですが・・・今回砂糖を一切使用せず乳糖糖果オリゴ糖で料理しました。

便秘で下剤を長年使い続けていると、腸がパンツのゴムが伸びきったような状態になると聞いてあせりました。腸の大切さ、知っているつもりだったが、講演を受けて再確認。

便秘すると腸内細菌のバランスが崩れ、悪玉菌が出す有害物質が増え、腐敗物質が腸壁を通して体の中に再び吸収され、様々な病気を引き起こす原因になると聞き、今のうちに何とかしなくては・・・。

講演で戴いたサンプルを飲んでみると癖のない甘味、これなら続けられる感じ。長年便秘に悩まされ、でることはでるがすっきりしない日々、大腸がん検診に引つ掛かりポリプ切除、嫌な思いをした。危機感を感じたので帰宅後すぐ、乳糖糖果オリゴ糖を注文しました。

2ヶ月経った今、親子共に快便とまではいかないが固い便も柔らかいかい便になりつつある。すんなり便が出るという事は一日すっきり体が軽くなる、これからも続けていきます。

## 電話相談員をしま

山本美世子

大家連事務所と直接関わりお手伝いさせていただくようになって5年目位、家族会歴は13年程になりますが、会社勤めしている時代は平日なかなか家族会例会に参加出来ませんでした。大家連のお手伝いは少々ボケつつある脳のトレーニングにもなり、歩く時間も増え健康に！プラスの面が沢山あります。

大阪府精神障がい者相談支援事業の電話相談員として月2回程事務所10時～15時出向き、月1回(原則第3金曜10時～12時)遠塚谷顧問を交えての電話相談ケース会議。相談事例を振り返り傾聴共感できただろうか?自分の身の回りの相談事例や障害者総合支援法、社会資源、福祉サービス、障害年金、世帯分離など色々な話題が出てその都度ミニ学習もあり、情報も入手出来て学習出来ます。何でもありの会議で学びの場でもあります。

11/15と12/9のピアサポート家族相談研

修会にも家族会員さんが沢山参加して頂きました。参加された家族会員は是非、電話相談員として大家連にご協力していただければ幸いです。

最近の私は少々疲れ気味です。今日この頃思う事は、色々な経験が少なくていつも不安でマイナス思考の当事者にならざるを得ない(いつも親の自分がしんどくなるので自分可愛さに半身逃げ腰?)、家族会の人たちとも例会で自分の現状をお話してお互いに「しょうがないです

ねえ。」と肩を落として家路につくパターンは止めて、年1回の懇親会だけではなく、当事者を交えた楽しい事(カラオケ、日帰り又は一泊の温泉旅行など)を企画して交流し、親子共々楽しい事を増やしていこうと考えています。人間楽しいことを共有・共感すると孤立感もなくなるし元気になるでしょう!そんな楽しい家族会にしたい人も増えるでしょう!



ピアサポート家族相談研修会 11月15日

# 理事会活動 月次報告 2015年度

## 7月

30日 大阪府障がい者施策推進協議会差別解消部会

## 8月

1日 精神保健福祉講座(天正雅美氏)

2日 大家連家族による家族学習会第2回

3日 大家連第2回代表者会議

5日 大阪府人権相談担当者研修会

16日 大家連家族による家族学習会

17日 大阪府障がい者施策推進協議会差別解消部会

18日 大阪府リハビリテーション協議会運営委員会

19日 大阪府障害フォーラム(ODF)世話人会

19日 近畿ブロック代表者会議

20日 大阪府障害フォーラム(ODF)条例検討プロジェクト

21日 電話相談ケース会議

22日 精神保健福祉講座(小田多佳子氏)

24日 定例理事会

26日 高槻ふれあい部会

26日 大阪ふれあいキャンペーン実行委員会

## 9月

4日 大阪府障害フォーラム(ODF)大阪府との意見交換会

7日 市内代表者会議

9日 大阪府障害フォーラム(ODF)世話人会

11日 大阪府精神保健グループ来所、精神科

救急医療システム説明

12日 精神保健福祉講座(井戸由美子氏)

14日 大阪府障がい者施策推進協議会

15日 大阪府市議会への陳情について共産党へ説明

18日 電話相談ケース会議

## 10月

18日 だいかれん誌244号発行

19日 精神保健福祉講座(青木聖久氏)

24日 大阪府障害フォーラム(ODF)条例検討プロジェクト

24日 大阪府市議会への陳情について大阪維新の会へ説明

25日 大阪府精神科療養環境検討協議会

28日 障がい者差別解消フォーラム

28日 障がい者差別解消フォーラム

30日 大阪府障がい福祉室来所、長期入院者

30日 地域移行推進の取組み

30日 定例理事会

## 11月

2日 国際障害者交流センター(ビッグアイ)来所

2日 大阪府障がい者施策推進協議会差別解消部会

8日 高槻発達障害フォーラム

6日 豊能ブロック圏域家族交流会

10日 大阪府障害フォーラム(ODF)世話人会

10日 大阪府障害フォーラム(ODF)世話人会

16日 だいかれん誌244号発行

1日 大阪府市議会への陳情書、公明党へ説明

2日 大阪府役所、民生委員会の傍聴

6日 大阪府障がい者施策推進協議会

9日 大阪府ODF差別解消部会条例作業部会

10日 ODF差別解消部会条例作業部会

14日 H27年度みんなねっと近畿ブロック家族の集い

14日 大阪府精神科病院協会へ署名依頼

15日 第1回大阪府障がい者高齢者虐待防止連絡会議

16日 電話相談ケース会議

17日 精神保健福祉講座(伊澤雄一氏)

25日 精神保健福祉講座(小田多佳子氏)

25日 公園でからだにいいことday

26日 定例理事会

28・29日 大家連事務所一階へ引っ越し

平成27年度の賛助会費  
年会費をいただきました。  
ありがとうございます。



特別賛助会費(病院) (103万円/年)として  
金岡中央病院(堺市) 1  
久米田病院(岸和田市) 1  
新阿武山病院(高槻市) 3  
箕面神経サナトリウム(箕面市) 1

団体賛助会費(診療所関係)  
(101万円/年)として

かく・にしかわ診療所(中央区) 1  
やまもとクリニック山本忍(西区) 1  
井畑クリニック(堺市) 1  
京谷クリニック(西区) 1  
三国丘こころのクリニック(堺市) 1  
星のクリニック(高槻市) 1

個人賛助会費(103千円/年)として  
6人分 60  
(平成27年8月6日〜平成27年11月5日現在)

## 大阪府精神保健福祉功労者知事表彰 おめでとうございます

吉井セツ子さん

(阪南市精神障害者家族会 阪南岬のぞみ会 会長)

吉井セツ子さんは長年にわたり精神障害者の家族として家族会活動に関わり、会長就任後は様々な活動をされ家族会の発展に尽くされてこられました。その功績が認められ平成27年11月13日に知事表彰されました。



### 「みんなねっと」購読しませんか

精神障害者とその家族を支援する「みんなねっと」の活動を応援してください。

「月刊みんなねっと」は賛助会費を振り込んでいただくと、毎月お手元に届きます。個人で申し込まれる場合は、郵便局に備え付けの振込用紙で(口座番号)「00130-0-338317」(加入者名)「みんなねっと」宛てにお振り込みください。購読費は年間3500円です(年度の途中で入会した場合は、4月号よりさかのぼって送られてきます)

団体及び2名以上の購読費は年間3000円です。

訂正とお詫び  
2015年6月発行のだいかれん誌243号3頁に掲載していただきました記事の救急ダイヤルの番号に誤りがありました。こちらが正しい電話番号です。  
大変ご迷惑をおかけしました。深くお詫び申し上げます。

平成27年4月より  
おおさが精神科救急ダイヤルの  
受付時間が変わります  
平日 17時～翌朝9時  
土・日・祝日・年末年始 9時～翌朝9時  
ご迷惑ごさう時に  
0570・0101・5000

### ひとりで悩んでいませんか？

心の病の患者さんを抱えている家族の方  
ひとりで悩んでいないで…  
あなたはもう  
ひとりぼっちではありません！  
同じ家族の立場で  
電話相談員があなたの悩みを  
お聞きします。



大家連 電話相談室

☎ 06-6941-5881

電話相談日

月～金 10:00～15:00

(祝日・お盆・年末年始は休みます)

□□□□ 編集後記 □□□□

だいかれん誌は今年度から年4回の発行を実現しています。より多くの情報をお届けし、皆様と共に歩む大家連でありたいと願っています。(文面にご希望の原稿をお寄せ下さい)  
大家連は2015年11月1日より事務所を1階に移転いたしました。公益法人としての事務所機能の充実や事務所内の活用方法などを考えながら、今までより広い場所に移りました。1階奥になります。皆様と意見交換しながら、活用方法については代表者会議などで話し合っ運営していきたいと願っています。今後ともご協力を宜しくお願い致します。

(林 信子)



赤い羽根募金

今年度も大阪府共同募金会から57万円をいただきました。  
年4回発行のこの機関誌の印刷および発送は、大阪府共同募金会からの助成金で行っています。ありがとうございます。  
赤い羽根募金へのご協力をしていただいた多くの皆様に感謝いたします。

編集人 公益社団法人大阪府精神障害者家族会連合会 会長 倉町 公之  
連絡先 〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-1-35 アネックスパル法円坂 (A棟1階)  
Tel 06-6941-5797 Fax 06-6945-6135 メールアドレス info@daikaren.org

振込先 郵便振替 00970-4-72221 公益社団法人大阪府精神障害者家族会連合会

定 価 1部100円 (大家連家族会費には購読料を含む)

発行人 関西障害者定期刊行物協会  
大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4階